

| | | | | | |
|--|--------|------|--------------------------------------|-----|------------------|
| 科目名称:保育内容(健康)指導法Ⅱ | | | | | |
| 担当者名:任田 和子 | | | | | |
| 科目群(区分) | 開講予定時期 | 授業形態 | 必修・選択 | 単位数 | 卒業認定・学位授与の方針との関連 |
| 専門展開 | 2年後期 | 演習 | 必修 | 1 | 子ども福祉学科(3) |
| アクティブ・ラーニング実施の有無 | 実施無し | | ナンバリング | | 24106212 |
| 授業概要:小児の「安全」について発表、討論し、幼児期に獲得すべき生活習慣を理解し、健康につながる具体的な指導方法を学んでいく。また、生活環境の中で健康障害を予防できる要素を学び、環境整備も含めて健康に関する指導法を学んでいく。 | | | | | |
| 到達目標:幼児期に獲得すべき生活習慣を理解し、健康につながる具体的な指導を考える。生活環境の中で健康障害を予防できる要素を学び、環境整備も含めて健康指導に生かす。 | | | | | |
| 授業計画 | | | 準備学習とその所要時間(分) | | |
| 第1回 領域「健康」の狙い | | | 幼稚園教育要領を読む(60) | | |
| 第2回 乳幼児期からの生活習慣病(1)生活習慣の認識は幼児期から | | | 生活習慣病についての自己学習(60) | | |
| 第3回 乳幼児期からの生活習慣病(2)肥満、食習慣、社会環境 | | | 「現代の子供の健康課題」を調べて提出(60) | | |
| 第4回 乳幼児期からの生活習慣病(3)指導計画書の書き方、作成 | | | 乳幼児の生活習慣病予防のテーマを考える(60) | | |
| 第5回 運動あそびと健康(1)運動習慣と健康(ICTの活用) | | | 幼児期の運動あそびについて自己学習(60) | | |
| 第6回 運動あそびと健康(2)指導計画書の書き方、作成 | | | 幼児期の運動あそびについて自己学習(60) | | |
| 第7回 幼児の安全管理と安全教育(1)安全管理 | | | 幼児の安全管理についての自己学習(60) | | |
| 第8回 幼児の安全管理と安全教育(2)安全教育(ICTの活用) | | | 幼児の安全教育についての自己学習(60) | | |
| 第9回 子どもの健康と保育者の役割 | | | 事前配布資料の読み取り(60) | | |
| 第10回 健康指導の方法(グループ作業)(1)グループ内で各々の計画書を検討、テーマ設定 | | | 指導書をグループで説明できるようにしておく(指導書は返却します)(60) | | |
| 第11回 健康指導の方法(グループ作業)(2)準備 | | | プレゼンテーション準備(作成・練習)(60) | | |
| 第12回 プレゼンテーション発表(1)内容の検討 | | | プレゼンテーション発表準備(60) | | |
| 第13回 プレゼンテーション発表(2)発表 | | | プレゼンテーション発表準備(60) | | |
| 第14回 プレゼンテーションの評価と助言 | | | 自己評価とPDCAを考える(60) | | |
| 第15回 まとめと健康指導の方法について | | | 健康指導の考え方、方法についてまとめる(60) | | |
| 履修に必要な予備知識や技能:事前に渡す資料の読み取りと自己学習 | | | | | |
| 課題に対してのフィードバック:提出された調べ学習から授業の進行に伴って関連事項について学生自身がレポートを発表する。学生の視点からの疑問や気づきについて全員でディスカッション、考察を行い理解を深める。個々の指導計画書を回収、講評後返却し、グループワークの指導計画書としてまとめ、グループ発表によって評価する。 | | | | | |
| 評価方法・基準:定期試験 50%、受講態度(授業への参加度)30%、指導計画書 20% | | | | | |
| 教科書:教科書:演習「保育内容」健康 建帛社 参考書:「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館) | | | | | |
| 備考: | | | | | |
| 実務経験の内容・期間:管理栄養士(35年) | | | | | |